



笠縫学区ホームページ

http://www.machikyou.jp/kasanui/

発行：笠縫学区まちづくり協議会

連絡先：笠縫まちづくりセンター  
TEL・FAX562-0071

Eメール：kasanui@machikyou.jp

笠縫学区（12月31日現在）

男性 5409人 女性 5696人

世帯数 4704世帯



「考える防災教室」を開催

一月十六日（土）まちづくりセンターにおいて、大阪ガス（株）地域共創グループの岡崎邦男さんと北村衣江さんを講師に迎え、28名の参加でセンター講座「その時、あなたを守るあなたになろう。」を開催しました。



「コンロが使えない時どうやって料理に火を通して？」「地震で食器が割れて料理を入れる容器がない。代わるものは？」「暖房器具が使えない

中、夜の冷え込みで、とても寒くて寝られない。どう

する？」といった、大災害発生後のライフライン（ガス・水道・電気）が使えない状況でも、強く生き抜く知恵や知識等を、クイズやグループワーク、そして、とてもわかりやすいアイデア満載の教材冊子を通して学習しました。

昨今のコロナ禍における災害時の避難についても触れ、「在宅避難」する場合の3条件 ①自宅が安全な場所にあること（ハザードマップで確認）②自宅が高耐震性であること ③家具の転倒防止策ができていないことを学びました。



実践カリキュラムでは、参加者全員がチラシを利用した紙食器（ラップを重ねて使用する）や、新聞紙を折ってスリッパを作り、災害時に実際に役立つ工夫として、大好評でした。さらに、災害対応レシピとして、講師がお湯の入った水筒でパスタ作りを実演されるなど、身近な物を使って災害を乗り越える方法を学ぶことも、あらためて防災に向き合う充実した講座でした。



参加者からは、「知恵と工夫で、ライフラインの止まった生活を乗り切ろうという話が参考になった」「クイズ形式でわかりやすく、考えるセミナーでよかった」「このような講座を、他の人につないでいく事が大事だと思うので、継続的に開催して欲しい」など多くの感想がありました。この日、一月十六日は、阪神・淡路大震災から26年となる前日。まちづくりセンターでは今後も継続して「防災教室」を開催していきたいと考えています。

### 第4回 防災対策委員会を開催

1月22日（金）まちづくりセンターにおいて、第4回の防災対策委員会を開催しました。

今回は、検討を進めてきた、災害発生時の初動期における町内会や学区災害対策本部（災対本部）の役割が有効に機能するかを検証するための実働報告訓練、「笠縫学区被害状況報告訓練」について、2月21日（日）に実施することを再確認し、下記3点の具体的事項について協議しました。



#### ① 災対本部体制と行動

- 本部長（まち協会長）…意思決定
- 副本部長（副会長4名）…情報収集班/応援調整班の情報に基づく状況分析・対応検討
- 情報収集班（班長以下5名）…各町内会からの被害報告の収集
- 応援調整班（班長以下4名）…被害町内会からの応援要請と応援出動する町内会との連絡調整
- 事務局（局長以下5名）…災対本部支援

#### ② 町内会の動きと流れ

地震発生→町内会防災役員による災対本部への被害報告→被害町内会の応援要請・応援する町内会の現場出動→訓練終了後の意見交換

#### ③ 被害状況報告訓練シナリオ

時系列での各担当ごとの報告内容



主催：笠縫学区防災対策委員会

誰一人取り残さないために！

## 被害状況報告訓練

- 日時：2月21日（日）9:00~12:00
- 実施地域：笠縫学区全町内会
- 災害対策本部：笠縫まちづくりセンター  
※今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、参加対象者を限定して実施いたします。

### まち協 第3四半期 会計監査を実施

1月29日（金）令和2年度まちづくり協議会第3四半期の会計監査が実施されました。

中村会計・事務局会計担当者出席のもと、監事2名による監査の結果、適正に処理されていることが確認されました。



### 笠縫学区健康のまちづくり推進委員会

かわら版 健康長寿の秘訣がここに！

## かさぬい健康フェスタを全戸配布します！



笠縫学区まちづくり協議会では、健康寿命（健康で長生き）を延ばすため、平成30年度から、医師による健康相談や、体操・体組成測定等で自分の体を知り、生活習慣の改善の機会とする健康のまちづくり事業「かさぬい健康フェスタ」を開催しています。

今年度はコロナ禍のため、開催に代えて、健康寿命を延ばす秘訣をコンパクトにまとめたリーフレット（A3 二つ折り）

【かわら版】「かさぬい健康フェスタ」を発行し、今月、学区のみなさんにお配りします。

ぜひ、このリーフレットを活用して、学区全体で健康寿命を延ばしましょう。

### かさぬいフォトウォーク



シクラメン

#### 今後の予定（2月15日～3月14日）

※記事作成時点での予定です。新型コロナウイルスの感染状況により、変更になる可能性があります。

- 2/21（日） 笠縫学区被害状況報告訓練
- 2/26（金） まちづくり協議会 運営委員会
- 3/ 4（木） 笠縫みまもり隊 情報交換会
- 3/13（土） 笠縫学区自治連合会 定例会

## 町内学習懇談会の総括

1月30日（土）に開催を予定しておりました、笠縫学区同和教育推進協議会主催の総括研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になりました。

今年度の町内学習懇談会は、例年通りの開催ではなく、『確かな学びの機会を継続する』ことに重点を置き、各町内会が開催の仕方等を工夫し、取り組みをすすめたところです。

ここでは、今年度、市内全学区の総括のまとめを、人権センターからいただきましたので掲載します。

「めざめ第43集」のDVDをもとにした懇談会では、わたしの「ふつう・あたりまえ」に再度立ち止まり考えました。



\*自分の生活の中で「ふつう・あたりまえ」と思っていることが、実はそうではなく、そのことで困っている人たちがいることを知り、自分自身の意識を再認識した。



このように、自分自身の意識を見つめ、そこから社会の現実に目を向ける機会となったことは成果のひとつです。



\*「知らない」「自分とちがう」ところから「排除」や「差別」が生まれる。「自分も含め様々な人がいる、様々な生き方がある」ことが「ふつう・あたりまえ」になることが大切ではないか。



現実に目を向けることで、社会の中にある不合理に気づく機会になります。学びをとおして「ほっておいても差別はなくなるしない」ことを改めて考えた町内会も多くありました。

また、新型コロナウイルス感染症に関わる差別についても考えました。

\*私たちは、不安に感じるものを遠ざけたり、排除してしまいがちである。また今回、（新型コロナウイルス感染症に関わる）情報量が多すぎて、その情報が正確なものであるかも不確かである。



このような意見も出されました。感染の不安は誰もが抱く感情です。けれどもその不安や生活のストレスを他者への「攻撃・排除」として向けることの影響についても考えました。



\*感染者や医療関係者の立場に立ったものの考え方ができているのか考えることが大切である。



改めて「“わたし”は当事者の立場に立ったものの見方ができているのか」一人ひとりがふり返りたいと思います。

取り組んだからこそ見えてきたものを総括し、「財産」として次年度へつなぎたいと考えます。『確かな学びの機会を継続する』ことで『誰もが暮らしやすい社会』をめざしたいものです。

町内学習懇談会総括資料（草津市人権センター）より抜粋

笠縫みまもり隊の活動

「笠縫みまもり隊」は  
青少年育成学区民会議が  
お願いしていた「おじい  
ちゃん・おばあちゃんパ  
トロール隊」を、平成二  
十六年度から、まちづく  
り協議会の地域安全部会  
が担当する「みまもり  
隊」として、引き継いで  
活動をしています。

「みまもり隊」の皆さ  
んには、通学時に子ども  
たちと一緒に歩いたり、  
交差点に立つなどして、  
雨の日も寒い日も、登下  
校時の児童たちの安全を  
見守っていただいております。

今後とも、地域全体で  
子どもたちの安全を守る  
ためにも、できるだけ多  
くの方のご支援が必要で  
ありますことか  
ら、この活動にご  
協力いただける方  
がおられましたら、まちづくりセ  
ンターまでご連絡  
をお願いします。

笠縫まちづくりセンター  
077-562-0071



琵琶湖の「しづきこおり」投稿

その日はとても寒く、琵琶  
湖畔に行くと打ち寄せられた  
波が  
草や木にかかり、まるで布  
をかぶせた様にカーテンの様  
に凍っていました  
気温、風、波など、それぞ  
れが一致しないと表れない現  
象とか自然の神秘に感動しま  
した。 一月九日撮影 井上

